

1. 支援する分野

下市温泉、KITO、下市集学校などの観光交流施設等、多様な地域資源を活用し、「ローカルウェルネス観光」を推進する。

2. 支援する地域及び核となる事業者

下市町（国道309号線付近）

下市町賑わい創出協議会、観光協会、商工会、(株)パル、(一社)おかえり集学校、NPO空き家コンシェルジュ



3. 目指す姿（目標）

（1）

温泉、森林、食、木工、健康、スポーツ、地域体験、人との交流などを組み合わせた「ローカルウェルネス観光」を形成し「住む人が豊かになり、訪れる人の暮らしが広がる町」を目指す。

2030年末までに、付加価値増加額は1億1,000万円を目指す。また、下市温泉・KITO来訪者数を約25万人から約31万人（25%増）に増加させる。また、下市温泉客単価を454円/人から600円/人へ向上させ、KITO単価についても現行比20%増を目指す。

4. 勝ち筋

新温泉施設の整備による滞在型観光交流拠点の形成、KITOを中心とした周遊促進、木工・農業・食文化等を活用した体験コンテンツ造成、フルーツ・薬膳素材・加工品等の高付加価値化、「心・体・美・暮らし・人とのつながり」を体感できる、ローカルウェルネス観光の促進などにより、滞在時間増、地域内消費拡大、関係人口創出を図る。

5. 政策手段

- ①新温泉施設整備及びKITOの魅力向上→温泉・飲食・宿泊・外気浴・公園等を含む滞在型空間を整備し、観光交流拠点機能を強化する。
- ②周遊促進、受入環境整備→下市集学校・森林公園やすらぎ村・下市観光文化センター・下市中央公園・古民家関連施設等の周遊を促進し、情報発信や案内機能も強化する。
- ③体験コンテンツ造成・伴走→体験型観光商品を造成し、事業者支援や人材育成を実施する。
- ④地域食材等の高付加価値化→各食材をブランド化し、観光施設、EC、ふるさと納税等を通じて販路拡大を進める。
- ⑤ローカルウェルネス観光の推進→地域ブランディングを進め、「下市町＝ローカルウェルネス観光の町」の形成を目指す。